

埼玉県議会議員

深谷けんじ

県政を前に進める実現力!

動く力! 徹底した現場調査で体育館へのエアコン設置を実現

県政につなぐ。
未来へつなぐ。

2025年
1月
第20号



▲2021年～2022年にかけて県立学校体育館を徹底調査

体育館エアコン設置 スケジュール (予定)

2025年
3月末
までに
7校

2024年度設置工事

- 川越高校
- 川越工業高校
- 狭山経済高校
- 新座柳瀬高校
- 鴻巣女子高校
- 所沢商業高校
- 松山女子高校

(7校)

2026年
3月末
までに
24校

2025年度設置工事

- 春日部高校
- 川口工業高校
- 熊谷西高校
- 越ヶ谷高校
- 進修館高校
- 草加高校
- 豊岡高校
- 南稜高校
- 飯能高校
- 蕨高校
- 久喜工業高校
- 上尾高校
- いずみ高校
- 坂戸高校
- 杉戸高校
- 蓮田松韻高校
- 本庄高校

(17校)

2027年
3月末
までに
36校

2026年度設置工事

- 浦和第一女子高校
- 浦和西高校
- 大宮高校
- 越谷北高校
- 深谷商業高校
- 春日部女子高校
- 川口高校
- 朝霞高校
- 幸手校高校
- 羽生実業高校
- 岩槻商業高校
- 浦和北高校

(12校)

2022年の質問で県は本設置決断

深谷 顕史氏 (公明、川越市)

【質問】防災拠点校に指定されている県立学校1校の体育館に電源の整備のみを行い、避難所となった際にスポットクーラーやパナソニックエアコンを調達するといった対応は疑問が残る。機器が確実に確保できる保証がなく、道路が寸断されれば搬入もままならない。昨年私が訓練を行うよう求め夏に実施された。現地を調査した安藤友貴議員は搬入の際の作業員の確保や搬送トラックの取り回し、設置時間などの課題を指摘し、教育長は「本設置も選択肢を含めていきたい」とのことだった。国

避難所にエアコンを設置

の緊急防災・減災事業債の期間は2025年までで、その間はないが所見は。

【富田教育長】訓練結果を受け、県では14校全てで改めて現地調査を行った。調査の結果、体育館の入り口に段差がありスロープを設置する必要や排気口を設けるために壁や窓を加工する必要があるなどの課題が学校ごとに明らかになった。災害発生時の混乱の中、人や物が不足する状況を見据え、作業が必要になることは避難所の速やかな環境整備に支障となることを改めて認識した。課題克服のため、エアコンの本設置を検討すると必要だと考える。今後、緊急防災・減災事業債の活用期限などを見据え、ランニングコストなども含めた財政的負担について検討を行うなど、取組みを進めていく。

▲2022年12月9日付 埼玉新聞2面

川越市内すべての小中学校全54校の体育館には2026年3月末までに設置完了予定!



川越第一中学校の体育館に設置されたエアコンの稼働状況を確認する
党市議員 (左側7人) と吉田校長ら

体育館に エアコン設置

埼玉・川越市
25年度まで
全小中学校で
避難所対策

埼玉県川越市は2025年度までに市内の小中学校全54校の体育館にエアコンを設置する計画を進めており、災害時の避難所環境の改善に力を入れている。公明党川越市議員(桐野忠国)は、このほど、設置が完了した市立川越第一中学校(吉田基校長)を視察した。

同中学校の体育館にはエアコン8基を設置。中には、災害で停電したとしても使用できるよう、自立発電型の室外機も導入してある。また、ガス燃焼機器などの災害対応ユニットを完備し、すぐに炊き出しができる体制を整えた。

党市議員の小ノ沢哲也議員は、19年6月定例会で学校体育館へのエアコン設置を訴え、熱中症対策とともに、避難所の環境改善を求めている。

吉田校長は、「公明党市議員には本当に感謝しています」と語っていた。

▲2024年11月27日付 公明新聞

2024年12月定例県議会 補正予算資料

防災拠点校への空調設備設置の前倒し

概要

長期の避難生活においても、熱中症等の危険性がない安心・安全な環境を確保するため、防災拠点校*10校の体育館の空調設備設置を前倒し、早期に着手する。

* 備蓄倉庫、太陽光発電、自家発電装置等を備えた学校。
全ての防災拠点校に自家発電装置が整備されており、停電時でも空調稼働が可能

設置計画

防災拠点校36校の空調設置スケジュール(予定)

区分	R5	R6	R7	R8以降
当初計画	設計 7	7	7	22
	工事	7	7	22
前倒し	設計 7	7+10	12	
	工事	7	7+10	12

※R7末統廃合予定の拠点校1校を除く

今回提案分

効果

令和7年度末までに防災拠点校10校の体育館へ空調設備を設置
災害時における避難所としての生活環境を改善

